



問4 お宅では貯蓄する商品を決める場合に、どのようなことに最も重点をおいて選びますか。(〇は1つ)

1. 利回りが良いから。
2. 将来の値上がり期待できるから。
3. 元本が保証されているから。
4. 取扱金融機関が信用できて安心だから。
5. 現金に換えやすいから。
6. 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから。
7. その他

問5 お宅の家計では、現在の貯蓄残高についてどのような評価をされていますか。(〇は1つ)

1. 十分である。
2. 不十分である。

問6 お宅の家計の現在の貯蓄残高は1年前と比べて増えましたか、あるいは減りましたか。(〇は1つ)

1. 増えた。  
→ 続けて問7にもお答えください。
2. 変わらない。  
→ 問9にお進みください。
3. 減った。  
→ 続けて問8にもお答えください。

問7 問6で、「1. 増えた」に〇印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 定例的な収入が増加したから。
2. 定例的な収入から貯蓄する割合を引き上げたから。
3. 配当や金利収入があったから。
4. 土地・住宅等の実物資産の売却による収入があったから。
5. 相続、退職金等による臨時収入があったから。
6. 株式、債券価格の上昇により、これらの評価額が増加したから。
7. 扶養家族が減ったから。
8. その他

問8 問6で、「3. 減った」に〇印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 定例的な収入が減ったので貯蓄を取り崩したから。
2. 土地・住宅購入費用の支出があったから。
3. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費用の支出があったから。
4. こどもの教育費用、結婚費用の支出があったから。
5. 旅行、レジャー費用の支出があったから。
6. 株式、債券価格の低下により、これらの評価額が減少したから。
7. 扶養家族が増えたから。
8. その他

問9 お宅の家計の1年後の貯蓄残高は増えていると思いますか、あるいは減っていると思いますか。(〇は1つ)

1. 増えているだろう。
2. 変わらないだろう。
3. 減っているだろう。

問10 お宅では、どのような目的で貯蓄をしていますか。(〇は3つまで)

1. 病気や不時の災害のときに備えるため。
2. こどもの教育資金にあてるため。
3. こどもの結婚資金にあてるため。
4. 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。
5. 老後の生活資金にあてるため。
6. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。
7. 旅行、レジャーの資金にあてるため。
8. 納税資金にあてるため。
9. 遺産として子孫に残してやりたいから。
10. とくに目的はないが、貯蓄していれば安心なため。
11. その他

問11 お宅では、現在どのくらいの貯蓄残高を目標としていますか。下表に数値をご記入下さい。

	億	千万	百万	十万	万円
貯蓄目標残高					

問12 現在のような金利情勢の下で、お宅では、これまでに、貯蓄に関してどのような行動をとられましたか。(〇はいくつでも)

1. 少しでも利息・配当収入が増えるように、運用している貯蓄商品をより高利のものに預け替えた。
2. 先行きの金利変化を予想して、短期(または長期)の貯蓄商品に預け替えた。
3. 利息・配当収入が少なかったため、消費のために貯蓄を取り崩した。
4. 貯蓄商品による運用を手控え、とりあえず手持ち資金として現金でもつことにした。
5. とくに何もしなかった。
6. その他

問13 お宅では、主取引金融機関を決める場合、どのような理由から選びますか。(〇は3つまで)

1. 近所に店舗やATM(現金自動預け払い機)があり便利だから。
2. 店舗網が全国的に展開されているから。
3. 金融商品の品揃えが豊富で選択の幅が広いから。
4. より収益性の高い金融商品を販売しているから。
5. 金融アドバイザーとしての相談窓口が充実しているから。
6. 経営が健全で信用できるから。
7. 勧誘員が熱心で印象が良いから。
8. テレビCM、ポスター、キャラクター商品などの印象が良いから。
9. その他

問14 お宅では、民間金融機関の経営内容を判断する際には、次のどれを基準にしていますか。(〇はいくつでも)

1. 預金量など金融機関の規模によって判断する。
2. 利益など業績によって判断する。
3. 不良債権の額によって判断する。
4. ディスクロージャー誌などを通じた情報公開の姿勢によって評価する。
5. 金融機関の経営陣の言動によって判断する。
6. 当該金融機関に対して自分なりにもっているイメージを重視する。
7. 新聞、雑誌などで目にする経営に関する評判をもとに判断する。
8. その他

問15 金融自由化に伴い、貯蓄商品の金利が頻繁に変更されるようになったほか、同じ時期に、同じ商品に預け入れても、金融機関により金利が異なることがあります。

① お宅では、300万円程度のもどまったお金を運用しており、その運用期間の満期を迎えたとします。仮に、ある程度の期間、引き続き運用しようとする場合、どのような考え方で取引金融機関を選びますか。ただし、金融機関の規模、サービスの内容などは差がないものとします。(〇は1つ)

1. 貯蓄商品の金利や経営内容のいかにかわらず、取引金融機関を替えるつもりはない。  
→ 問16にお進みください。
2. 貯蓄商品の金利や経営内容次第では、取引金融機関を替えることを検討する。  
→ 続けて⑥にもお答えください。

② 上記2. を選択されたお宅では、どのような条件を重視しますか。(〇は1つ)

1. どちらかという金利差。  
→ 続けて③にもお答えください。
2. どちらかという経営内容。  
→ 問16にお進みください。

③ 上記②で1. を選択されたお宅では、金利の差が何%程度あれば、取引金融機関の変更を検討されますか。(〇は1つ)

1. 0.1%程度の差でも預け替える。
2. 0.2%程度の差があれば預け替える。
3. 0.3%程度の差があれば預け替える。
4. 0.4%程度の差があれば預け替える。
5. 0.5%程度の差があれば預け替える。
6. 1%程度の差があれば預け替える。
7. 1.5%程度の差があれば預け替える。
8. 2%程度以上の差があれば預け替える。

問16 ④ 預金者の保護を目的とした「預金保険制度」といった制度があります。

この制度によって、原則として1金融機関につき預金者1人当たり元本1,000万円までが保証されていますが、お宅ではこの制度をご存じですか。(〇は1つ)

1. 内容まで知っている。
  2. 見聞きしたことはある。
  3. 全く知らない。
- ⑤ また、お宅では、ご自分の貯蓄などをより安全なものにするため、何かなさいましたか。(〇はいくつでも)

1. 貯蓄商品の安全性に関する情報を収集した。
2. 経営内容がより健全で信用度が高いと思われる金融機関に預け替えた。
3. 預金保険が適用される商品に預け替えた。
4. 1つの金融機関に預けた預金金額が1,000万円を超えないように、預け入れ先を複数に分散した。
5. 今後は選択する金融機関や貯蓄商品を見直すことにしている。
6. 何もしていない。
7. その他

問17 お宅では、金融機関のサービスについて、現在不満に思っていたり、今後改善してほしいと期待しているものがありますか。(〇はいくつでも)

1. 新しい貯蓄商品やサービスの内容を、もっとわかり易く説明してほしい。
2. 総合的な資金管理について、きめ細かいアドバイスがほしい。
3. 機械化の進展に伴いおろそかになってきている顧客とのコミュニケーションを、もっと図ってほしい。
4. 機械に弱い高齢者等が気軽に相談できる専門の相談窓口を、設置してほしい。
5. ホームバンキングやホームトレードに関するサービスを、充実してほしい。
6. 平日の窓口の営業終了時刻を、延長してほしい(例えば、現行の3時を5時に変更するなど)。
7. 土・日・祭日にATM(現金自動預け払い機)の機能をフル稼働させるとともに、稼動時間帯も拡大してほしい。
8. 窓口等での待ち時間を、もっと短くしてほしい。
9. 景品(ティッシュペーパー、ラップ等)にコストをかけるよりも、預金金利や貸出金利の面で顧客に有利なレートサービスを、してほしい。
10. 低利の個人ローン(教育ローン等)を、拡充してほしい。
11. 融資にあたっては、担保物件が乏しくても、人物やプロジェクトの質を見極めながら、弾力的に対応してほしい。
12. 金融機関の業務に限らず金融や税金など暮らしに密着した情報を、幅広く提供してほしい。
13. 金融機関の経営内容(業務状況、財務内容、収益構造等)を、もっとわかりやすく開示してほしい。

**問18** お宅では、金融自由化の進展について現在どのよう  
にお考えですか。 (〇は2つまで)

- 金融自由化の進展に伴い、金融資産の選択の幅が  
広がり、個人にとってメリットが大きい。
- 個人の金融経済情報の収集能力には限界がある  
ため、金融自由化の進展に伴いかえってリスクが  
増すことになり、個人にとってあまりメリットは  
ない。
- 金融自由化の進展に伴い、金融機関の体力に  
よっては合併や破綻が今後増えていくことが予想  
され、不安である。
- 金融自由化の進展に伴い、制度の変更や様々な  
金融商品、サービスが出現しているが、金融商品  
の内容や仕組みあるいは自由化のプロセスなどが  
よくわからず、やや戸惑っている。

**問19** ① お宅の家計(家族全体)の過去1年間の収入・支  
出それぞれについて、下表の該当する欄に金額をご  
記入ください。

億 千万 百万 十万 万円

取 入 +	年間手取り収入(税引後) <sup>(注)</sup> ①				
	貯蓄金取り崩し額 ②				
	新規借入金額 ③				
	土地・住宅売却金額 ④				
支 出 -	年間貯蓄額 ⑤				
	年間借入金返済額 ⑥				
	うち住宅ローン返済額				
	土地・住宅購入費用 ⑦				
消費支出(⑧+⑨+⑩+⑪-⑫-⑬-⑭)					

(注) 年間手取り収入とは、就業に伴う収入、年金、不動産賃貸  
収入、利息収入等の税引後収入。

② お宅では、1年前と比べて現在の手取り収入はど  
うでしたか。 (〇は1つ)

- 増えた。
- 変わらない。
- 減った。

③ また、1年後の手取り収入をどうみていますか。  
(〇は1つ)

- 増えるともっている。
- 変わらない。
- 減るともっている。

**問20** お宅では、過去1年間の消費支出をその前年と比べ  
て増やしましたか、あるいは減らしましたか。  
(〇は1つ)

- 消費支出を増やした。  
→ 続けて②にもお答えのうえ、  
問21の②にお進みください。
- 消費支出を変えていない。  
→ 問22にお進みください。
- 消費支出を減らした。  
→ 続けて③にもお答えのうえ、  
問21の③にお進みください。

④ 過去1年間に「消費支出を増やした」に〇印をつ  
けたお宅では、どのような項目の消費支出を増やし  
ましたか。

⑤ また、過去1年間に「消費支出を減らした」に〇  
印をつけたお宅では、どのような項目の消費支出を  
減らしましたか。  
それぞれ下表の⑥、⑦欄の番号に〇印をつけてくだ  
さい。 (〇はそれぞれ3つまで)

	⑥ 過去1年間に増やした	⑦ 過去1年間に減らした
食料費	1	1
住居費 (家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)	2	2
被服費 (身の回り品を含む)	3	3
耐久消費財購入費 (自動車、家具、家電等)	4	4
交通・通信費 (自動車購入費は除く)	5	5
教育費	6	6
保健・医療費 (美容関係を含む)	7	7
教養娯楽・交際費 (スポーツ、旅行を含む)	8	8

**問21** ① 問20で、過去1年間に「消費支出を増やした」と  
答えたお宅に、その理由をお尋ねします。次の選択  
肢の中から、主な理由を選んでください。  
(〇は3つまで)

- 手取り収入が増えたから。
- 手取り収入は増えなかったが、先行きは増えてい  
くとみているから。
- 1~2年前よりも借入金の返済が進んで、消費に  
まわせる金額が増えたから。
- 物品などの購入にあたって、ローンが組みやす  
くなったから。
- 物やサービスの値段が安くなったから。
- 何かと必要と思われる物やサービスが増えてきた  
から。
- 資産価格が上昇して、支出の増加に寛容になっ  
たから。
- その他

② 問20で、過去1年間に「消費支出を減らした」と  
答えたお宅に、その理由をお尋ねします。次の選択  
肢の中から、主な理由を選んでください。  
(〇は3つまで)

- 手取り収入が減ったから。
- 手取り収入は減らなかったが、先行きは減って  
いくとみているから。
- 預貯金の利息や配当の金額が減ったから。
- 1~2年前よりも借入金の返済が増えており、消  
費にまわせる金額が減ったから。
- 物品などの購入にあたって、ローンが組みにく  
くなったから。
- 物やサービスの値段が高くなったから。
- とくに必要と思われる物やサービスがなかつ  
たから。
- 資産価格が目減りして、支出の増加に慎重にな  
ったから。
- その他

**問22** お宅では、今後1年間の消費支出を過去1年間の  
それと比べて増やしますか、あるいは減らしますか。  
(〇は1つ)

- 消費支出を増やす。  
→ 続けて②にもお答えのうえ、  
問23にお進みください。
- 消費支出を変えない。  
→ 問23にお進みください。
- 消費支出を減らす。  
→ 続けて③にもお答えのうえ、  
問23にお進みください。

④ 今後1年間に「消費支出を増やす」に〇印をつ  
けたお宅では、どのような項目の消費支出を増やしま  
すか。

⑤ また、今後1年間に「消費支出を減らす」に〇印  
をつけたお宅では、どのような項目の消費支出を減  
らしますか。  
それぞれ下表の⑥、⑦欄の番号に〇印をつけてくだ  
さい。 (〇はそれぞれ3つまで)

	⑥ 今後1年間に増やす	⑦ 今後1年間に減らす
食料費	1	1
住居費 (家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)	2	2
被服費 (身の回り品を含む)	3	3
耐久消費財購入費 (自動車、家具、家電等)	4	4
交通・通信費 (自動車購入費は除く)	5	5
教育費	6	6
保健・医療費 (美容関係を含む)	7	7
教養娯楽・交際費 (スポーツ、旅行を含む)	8	8

**問23** お宅の家計では、現在、借入金がありますか。ただし、月賦払いの未払金やリボルビング方式<sup>※</sup>の借入による未払金は対象に含め、1～2か月後に決済するクレジットカード利用・ツケ買いによる未払金は除きます。  
(○は1つ)

(注) リボルビング方式とは、あらかじめ設定した借入金額の利用限度枠内であれば何回でも利用でき、最初に決めた一定額を毎月、返済する借入方式のこと。

- 借入金がある。→ 続けて④にもお答えのうえ、問24、25にお進みください。
- 借入金がない。→ 続けて⑤にもお答えのうえ、問26にお進みください。

④ 「借入金がある」に○をつけたお宅では、借入れについて過去1年間に何かされましたか。(○は1つ)

- 新規借入を行った。
- 一部繰り上げ返済した。
- 借り換えを行った。
- 適用金利の引き下げなどの条件変更を行った。
- とくに何もなかった。
- その他

⑤ 「借入金がない」に○をつけたお宅では、借入れについて過去1年間に何かされましたか。(○は1つ)

- 過去1年間で全額を返済した。
- とくに何もなかった。
- その他

**問24** 現在借入金があるお宅にお尋ねします。現在の借入金残高と借入先別内訳をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 公的金融機関 <注1>					
民間金融機関 <注2>					
販売会社、クレジット会社等					
貸金業者 (消費者金融会社、質屋)					
勤務先					
親類、知人					
その他					

<注1> 住宅金融公庫、年金住宅福祉協会、国民金融公庫、郵便局等。

<注2> 銀行、信金、信組、労金、農・漁協、保険会社、住宅金融専門会社等。

また、現在の借入金残高合計のうち、住宅ローン、教育ローン、フリーローン<sup>※</sup>残高をそれぞれ下表にご記入ください。

(注) フリーローンとは、借入金の資金使途が特定されていないローン (カードローンを含む)。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 住宅ローン残高					
教育ローン残高					
フリーローン残高					

上記の合計の金額と一致

**問25** 現在借入金があるお宅にお尋ねします。お宅では、どのような目的で借入れを行いましたか。

次のうちから借入目的を選び、該当する番号に○印をつけてください。(○は3つまで)

- 医療費や災害復旧資金にあてるため。
- こどもの教育・結婚資金にあてるため。
- 住宅 (土地を含む) の取得または増改築などの資金にあてるため。
- 日常の生活資金にあてるため。
- 耐久消費財 (自動車、家具、家電等) の購入資金にあてるため。
- 旅行、レジャーの資金にあてるため。
- 株式等金融資産への投資資金にあてるため。
- 土地・建物 (マイホームは除く) 等の実物資産への投資資金にあてるため。
- 相続税対策の資金にあてるため。
- その他

**問26** お宅の家計では、手持ちの現金 (銀行券および硬貨) の残高は月平均してどのくらいありますか。

百万	十万	万円

また、1年前と比べて手持ち現金額を増やしましたか、あるいは減らしましたか。(○は1つ)

- 増やした。
- 変えていない。
- 減らした。

**問27** お宅では、将来、子孫に遺産 (不動産などの実物資産を含む) を相続させることについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- 自分たちの老後の世話をしてくれるならば、こども等になるべく多くの財産を残してやりたい。
- 自分たちの老後の世話をしてくれるか否かにかかわらず、こども等になるべく多くの財産を残してやりたい。
- 自分たちの人生を楽しみたいので、こども等に残すことは考えていない。
- 自分たちの財産をこども等が当てにして働かなくなるといけないので、こども等に財産を残すことは考えていない。
- 自分たちの財産については、家族のためだけでなく、困っている人や社会・公共の役に立つような使い方を考えていきたい。
- 遺産を残すこども等がないので、とくに考えていない。
- その他

**問28** ④ お宅では、生活感覚として“経済的な豊かさ”と“心の豊かさ”について、どのように実感していますか。それぞれ下表の各欄の番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	どちらかと言えば、実感している	どちらかと言えば、実感していない
経済的な豊かさ	1	2
心の豊かさ	1	2

⑤ お宅では、“経済的な豊かさ”を実感するためには、次のうち何が大切だと思いますか。(○は2つまで)

- マイホームなどの実物資産の取得
- ある程度の額の金融資産の保有
- ある程度の額の年収の実現
- 消費財購入やレジャー関連消費の充実
- その他

⑥ また、“心の豊かさ”を実感するためには、次のうち何が大切だと思いますか。(○は3つまで)

- 経済的な豊かさ
- 趣味の充実
- 仕事の充実
- 時間的な余裕
- 健康
- 将来の生活への安心感
- 家族とのきずな
- 人や社会への貢献
- その他

**問29** 生活意識に関する以下の2組の対照的な考え方A、Bについて、お宅では、どちらの考え方に近いと判断されますか。

- ①
- A: 将来のことを考えて計画的に貯蓄し、生活していくべきである。
  - B: 将来のことをあれこれ心配するよりも、現在の生活を楽しく過ごすべきである。
- ②
- A: 公的年金だけでは頼れないので、老後に備えて貯蓄を増やす必要がある。
  - B: 公的年金があるので、老後に備えてとくに貯蓄を増やす必要はない。

それぞれ下表の該当する番号に、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	Aの考え	Aに近い	どちらとも言えない	Bに近い	Bの考え
①	計画的に貯蓄し、生活していくべきである	1	2	3	現在の生活を楽しく過ごすべきである
②	老後に備えて貯蓄を増やす必要がある	1	2	3	老後に備えてとくに貯蓄を増やす必要はない

**問30** 家計簿の記帳についてお尋ねします。  
(○はそれぞれ1つ)

- ① お宅では、家計簿をおつけになっていますか。  
1. つけている。  
2. ときどきつけている。  
3. つけていない。

→ 問31にお進みください。

→ 続けて②にもお答えください。

- ② 上記3. を選択されたお宅にお尋ねします。次のうち該当する番号に○印をつけてください。  
1. 以前はつけていたが、今はつけていない。  
2. これまでに全くつけたことがない。

**問31** お宅では、②将来のことを考えて生活設計を立てていますか。

また、⑥生活設計を立てているお宅では、何年くらい先まで考えて生活設計を立てていますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 生活設計を立てている。  
2. 現在生活設計を立てていないが、今後は立てるつもりである。  
3. 現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない。
1. 1～2年先まで  
2. 3～5年先まで  
3. 10年先まで  
4. 20年先まで  
5. 20年以上先まで

→ 問33にお進みください。

→ 問32にお答えください。

**問32** 問31で、「現在生活設計を立てていない」と答えたお宅にお尋ねします。

お宅で生活設計を立てない理由、あるいは立てるうえでの問題点として感じになっていることは、何ですか。(○はいくつでも)

- 自分たちが、将来何をしたいのかが定まらない。
- 将来のことで、今から思い悩みたくない。
- 将来は、経済環境等が大きく変わり得るので、今から計画を立てても意味がない。
- 生活設計を立てなくても、その場その場でなんとかなる。
- 生活設計を立ててみたいが、将来の収入や費用など生活設計のための具体的な条件がわからない。
- その他

**問33** お宅では、現在どのような住居にお住まいですか。(○は1つ)

- ご自身が購入した家屋・マンション
- 相続または贈与を受けた持家
- 同居している親または親族の家
- 民間の賃貸マンション・アパート、借家
- 公団・公営の賃貸アパート
- 官舎、社宅
- 間借、その他

→ 続けて問34、問35にもお答えください。

**問34** マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。お宅では、世帯主の方が何歳くらいの時にマイホームを取得する予定ですか。(○は1つ)

- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳以上
- 親からの相続等によるので、いつになるかわからない。
- マイホームの取得については目下のところ考えていない。
- 将来にわたりマイホームを取得する考えはない。

**問35** 近くマイホームを取得する予定があるお宅にお尋ねします。

お宅がマイホームを取得するのに必要な資金の総額はどのくらいですか。また、その資金をどのように調達する予定ですか。

それぞれについて、下表に金額をご記入ください。なお、買い換えの場合は、新・旧物件の価格差ではなく、新規取得物件の方の総額をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
必要資金総額					
うち 自己資金					
借入金					

**問36** 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。お宅では、老後の生活費として、毎月最低どれくらい必要とご感じになりますか(現在の物価水準を基準にお答えください)。

百万 十万 万円

--	--	--

また、老後の暮らしについて、経済面でどのようにお考えですか。(○は1つ)

- 全く心配していない。
- それほど心配していない。
- 多少心配である。
- 非常に心配である。

→ 続けて問37にお答えください。

→ 続けて問38にお答えください。

**問37** 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。問36で、「1. 全く心配していない」、「2. それほど心配していない」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 十分な貯蓄があるから。
- 退職一時金があるから。
- 年金(公的年金、企業年金、個人年金)や保険があるから。
- 生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは考えられないから。
- 十分な貯蓄はないが、老後に備えて着々と準備(貯蓄など)しているから。
- 再就職により収入が得られる見込みがあるから。
- 不動産収入(家賃、地代等)が見込めるから。
- 子どもなどからの援助が期待できるから。
- 親などからの遺産が見込まれるから。
- その他

**問38** 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。問36で、「3. 多少心配である」、「4. 非常に心配である」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 十分な貯蓄がないから。
- 退職一時金が十分ではないから。
- 年金(公的年金、企業年金、個人年金)や保険が十分ではないから。
- 生活の見通しが立たないほど物価が上昇することがあり得ると考えられるから。
- 現在の生活にゆとりがなく、老後に備えて準備(貯蓄など)していないから。
- 再就職により収入が得られる見込みがないから。
- 家賃の上昇により生活が苦しくなると見込まれるから。
- マイホームを取得できる見込みがないから。
- 子どもなどからの援助が期待できないから。
- その他

→ 問41にお進みください。

**問39** 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。お宅では、生活費として、毎月最低どのくらい必要ですか。

百万 十万 万円

--	--	--

また、現在の暮らし向きについてどのようにお考えですか。(○は1つ)

- 家計にゆとりがあり、全く心配なく暮らしている。
- 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている。
- 家計にゆとりがなく、多少心配である。
- 家計が苦しく、非常に心配である。

**問40** 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。現在のお宅の生活費は、どのような収入源に拠っていますか。(○は3つまで)

- 就業による収入
- 公的年金
- 企業年金、個人年金、保険金
- 貯蓄の取り崩し
- 利子・配当所得
- 不動産収入(家賃、地代等)
- 子どもなどからの援助
- 国や市町村などからの公的援助
- その他

**問41** お宅では、老後を豊かに不安なく暮らしていくために必要なことは、どのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

- 高齢者に対する雇用機会の確保
- 公的年金制度の拡充
- 物価(土地・住宅価格を含む)の安定
- 老人医療制度(老人病院、定期健康診断等)の拡充
- 公的・私的の老人介護施設やサービス(老人ホーム、ホームヘルパー等)の拡充
- 身体が不自由な人のための各種設備(車いす用通路、非常用通報システム等)の整備
- 地域住民のふれあいや交流の場の確保
- その他

**問42** お宅では、お子さんに渡しているこづかいは、月平均で1人当たりどのくらいの金額ですか。学齢区分ごとに、下表に金額をご記入ください。

	十	万	千	百	十	円
小学生(1・2年)						
小学生(3・4年)						
小学生(5・6年)						
中学生						
高校生						

**問43** お宅の世帯員としてのご家族は、自分も含めて何人ですか。(○は1つ)

- 2人
- 3人
- 4人
- 5人
- 6人
- 7人以上

**問44** お宅の世帯主の方は、満年齢で何歳ですか。  
(○は1つ)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60～64歳
6. 65～69歳
7. 70歳以上

**問45** お宅の世帯主の方のご職業は、次のうちどれにあたり  
ますか。(○は1つ)

1. 農・林・漁業者
2. 自営商・工・サービス業主
3. 事務系職員
4. 労務系職員
5. 管理職
6. 自由業
7. その他

**問46** お宅のご家族の就業状況は、次のうちどれにあたり  
ますか。(○は1つ)

1. 世帯主およびその家族ともに働いていない。
2. 世帯主のみが働いている。
3. 世帯主とその配偶者が働いている。
4. その他